

事業報告

第4分科会		組織・運営	
テーマ	PTAも多様性の時代 一人ひとりの違いを結んで新たな道を目指そう！		
趣旨	PTAを検索すると「役員になりたくない・関わるのが面倒」など、残念ながらマイナスワードばかりです。子どもたちが安心して楽しい学校生活を送るため周りの大人の力が必要だと判っていても、従来の組織や運営が足かせとなって上手くいかないのかもしれませんが。知将で名高い戦国武将、真田家のふるさと上田の郷に集い、皆さんの知恵を”結”びつけて、固定観念に囚われない持続可能なPTA活動のヒントを見つけてみませんか？		
会場	上田市立第二中学校	運営担当	上小PTA連合会
参加人数	130名	子ども参加者数	0名

担当副実行委員長	矢島 広幸	運営委員長	山田 麻紀
----------	-------	-------	-------

分科会総括

今回の分科会では、「普通とは何か」という問いを手がかりに、子どもの成長を支える視点や、私たち大人が無意識に持つ価値観について多くの気づきを得られた。荒井先生の豊富な知識と経験に基づく内容はわかりやすく整理され、参加者からは「情報量が多いのに理解しやすかった」という声が多く寄せられた。

PTAのこれからを考える上で、自分たちが「見ようとしたものだけを見てしまう」ことへの注意喚起や、多様な視点を持つことの大切さが強調された。固定観念にとらわれず、その時々に応じて発想を転換する姿勢が、子どもたちの学びを支え、学校と家庭の協働につながることを再認識する機会となった。

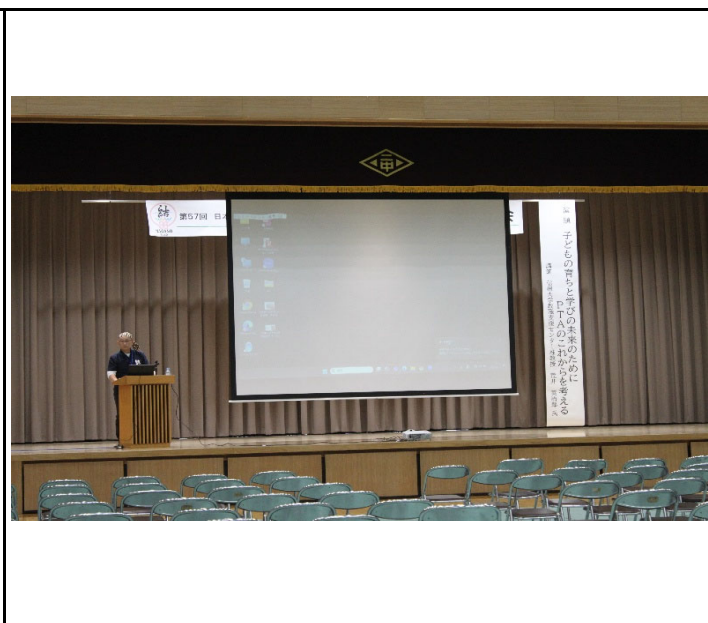
また、「持続可能なPTAにするには、自分や家族の幸せを犠牲にしてまで頑張りすぎないことが重要」というメッセージは、多くの参加者の心に強く響いた。PTA活動において、誰かの基準を他の人に押しつけないこと、一人ひとりの「違い」を尊重することの大切さを改めて考えさせられた。

PTA組織運営の課題や改善策についても、ユーモアを交えつつ具体的に提示され、現在組織改革に取り組む学校にとって非常に参考になる内容であった。教職員の働きやすさ・働きがいに触れられ、学校全体をより良くしていく視点を共有できる貴重な分科会となった。

会場



ステージ



講演中



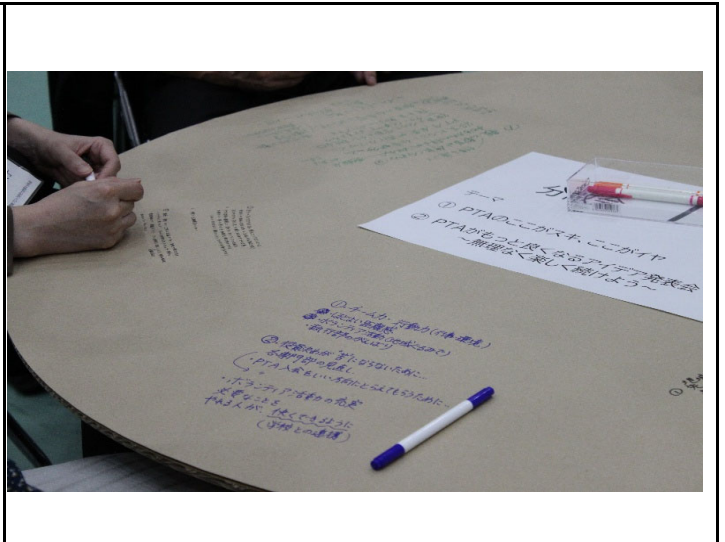
講演の様子



ディスカッションの様子



ディスカッション



発表の様子



スタッフ集合写真

